

(5) 学芸的行事での活用例

学芸的行事といわれるものをあげると、学芸会、音楽会、展覧会、研究発表会などがある。これらは、ほとんど講堂や屋内体育館で行われるので、OHPの利用範囲が広がる。

しかし、こうした行事は、総合的な企画がしっかりしていないと、全体がまとまりのない寄せ集めになってしまうきらいがある。

そこで、児童生徒に対する事前指導、実施段階での指導、事後指導のあり方を含めた計画作成の重要性とともに、行事の主題（テーマ）設定の重要性を強調する必要がある。

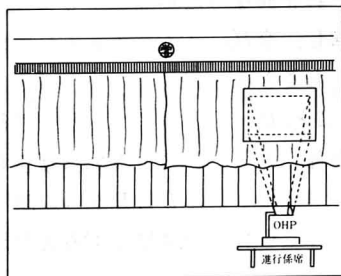
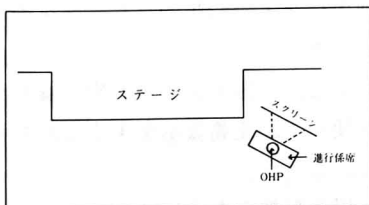
ここから、規模・学年割当・内容・会場設営・視聴覚機器の利用・進行・評価などが導き出されるからである。

特に、学年規模でなく全校規模で行われるとなれば、この点にもじゅうぶんな企画性を発揮しなければならない。

いずれにしろ、日常用いている視聴覚機器を積極的に用いて、行事の内容を多彩に盛り上げるようにしたいものである。

① 進行の効果を高めるためのOHPの利用

〔①の説明図〕



学芸的行事として行われる行事は、鑑賞を主とするものよりは、それぞれの学年に応じて、授業やクラブ活動での練習結果や学習（研究）結果を発表することが主なねらいである。

したがって、演技項目や研究主題をプログラム順に紹介するだけでなく、これまでの練習や研究の経過と内容の解説などを行うことが、より教育的であるといえる。

学芸的行事の最大のものとしての学芸会（学習発表会）、研究発表会などを例にとると、OHPを利用して、舞台の両サイドのいずれか一方に設営したスクリーンか、ステージの幕にとめた白布を利用したスクリーンに、紹介や解説のTPを投映して効果をあげるようにしたい。

〔紹介と解説のための生徒の自作TP例〕

モーツァルトについて	
○時代区分	古典派
○生 国	オーストラリア
○曲の特長	美しく形式が整って 芸術のかおり高い
○主な作品	ピアノソナタ 歌げきフィガロの結婚 弦楽合奏セレナーデ 交響曲ジュピター

第2楽章——メヌエット（複合3部形式）

The diagram shows a musical score for the second movement, a Minuet in ternary form. Above the staff, three boxes labeled 'A', 'B', and 'A' are connected by lines, indicating the structure of the piece. Below, two staves of musical notation are shown, with the first staff containing the melody and the second staff containing the accompaniment.